

平群町
地域支援事業について

令和2年2月

平群町 福祉課

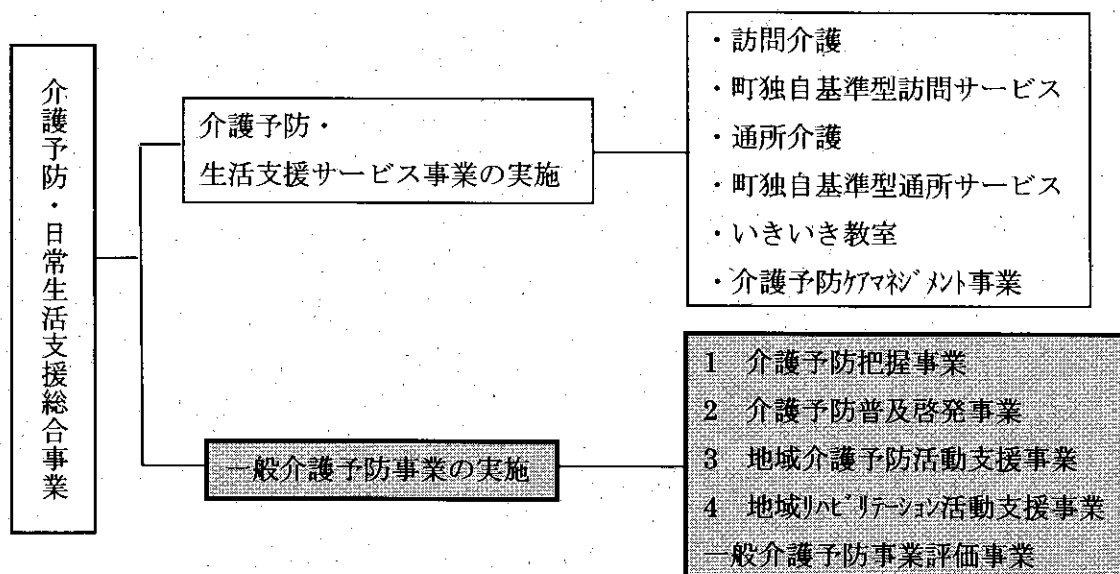
目 次

1. 一般介護予防事業について・・・・・・・・・・・・・1～2
2. 認知症対策事業について・・・・・・・・・・・・・3～5
3. 在宅医療・介護連携推進事業について・・・・・・・・・・・・・6
4. 生活支援体制整備事業について・・・・・・・・・・・・・7

1. 一般介護予防事業について

介護予防・日常生活支援総合事業とは、要支援者等を対象とした「介護予防・生活支援サービス事業」と、65歳以上の全高齢者を対象とした「一般介護予防事業」の2本柱で構成されます。

一般介護予防事業は、行政、地域住民の互助、民間サービスが連携し、高齢者が住み慣れた地域で出来る限り自立した生活を送れる地域の実現を目指すことを目的としています。



1 介護予防把握事業

医療機関・民生委員等地域住民・地域包括支援センター業務・本人や家族からの相談・関係課等より収集した情報を活用し、何らかの支援を要する者を早期に把握し、住民主体の介護予防活動につなげる。

2 介護予防普及啓発事業

知識を普及啓発するための講演会や講座等の開催
普及啓発の為の介護予防教室の開催

- ①元気アップ教室 11回2グループ 筋力・体力づくりを目標にした教室
- ②介護予防あれこれ講座 口腔・栄養・運動をテーマにした講座
- ③④ なじみのある運動を通して運動習慣の定着を啓発

実施事業	H 29年度	H30年度	R1年度(1月末)
①元気アップ教室	延べ441人	延べ460人	延べ370人
②介護予防あれこれ講座	全4回 延べ76人	全3回延べ36人	全3回延べ52人
③ウォーキング講座	—	2回延べ41人	2回延べ20人
④ラジオ体操講座	—	2回 延べ45人	2回 延べ28人

3 地域介護予防活動支援事業

高齢者が誰でも一緒に参加できる介護予防活動の地域展開をめざし住民主体の通いの場を支援する。
ボランティア等の人材育成研修 多様な地域支援組織の育成支援

①「へぐりいきいき百歳体操」の普及啓発 立上げから定着・継続の支援

R1 実施地域 御陵苑・月見台・上庄・竜田川・緑ヶ丘・春日丘・菊美台

長寿会体操クラブ・初香台・西宮・椿台・若葉台・吉新・若井

②百歳体操体験・交流会 年1回 実施団体同士の交流と情報交換 公民館で実施

③はつらつサロン（地域包括支援センター内）6回 交流の場

お茶会 手作業(籠作り、絵手紙など)

実施事業	H 29年度	H30年度	R1年度(1月末)
①「へぐりいきいき百歳体操」の普及啓発	10ヶ所	13ヶ所	14ヶ所
②百歳体操体験・交流会	71人	94人	123人
③はつらつサロン	延べ143人	延べ139人	延べ78人

4 地域リハビリテーション活動支援事業

リハビリテーション専門職が地域包括支援センターと連携し、自主活動を行っている団体や地域ケア会議等で介護予防の取り組みを支援する。

①「へぐりいきいき百歳体操」を実施している団体に専門職による技術的指導を実施

② 地域ケア会議（多職種によって個人のケアプランを検討し合う会議）にて、リハビリ専門職を入れることにより、介護予防の視点を強化する。

実施事業	H 29年度	H30年度	R1年度(1月末)
①「へぐりいきいき百歳体操」への技術支援	9ヶ所	10ヶ所	6ヶ所
②地域ケア会議にリハビリ専門職の参加	—	—	9回 39件

2. 認知症対策事業について

1 認知症への理解を深めるための普及・啓発の推進

① 認知症サポーターの養成

県の講習を受講した講師（キャラバンメイト）が地域で認知症についての知識を普及啓発
受講者（サポーター）を養成 開催場所：自治会 小学校など

② 認知症講演会の開催（テーマ）

H28年度 「わかる・出来る 認知症対策」

H29年度 「認知症患者を理解する～認知症の事をもっと知ろう～」

H30年度 「認知症になっても安心して生活できる地域づくり」

R 1年度 「若年性アルツハイマーと向き合って」

③ 認知症の啓発

H28年度 リーフレット作成し、広報折込にて全戸配布

H29年度 広報に認知症の特集記事を一面で掲載

H30年度 地域包括や福祉課での出前講座で、認知症についての情報を発信

R 1年度 窓口での配布継続

実施事業	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度(1月末)
①認知症サポーターの養成	15回 371人	15回 360人	16回 357人	8回 188人
②認知症講演会の開催	1回 47人	1回 55人	1回 55人	1回 43人

2 認知症の容態に応じたサービスの提供

① 認知症初期スクリーニングソフト

町ホームページに掲載 本人向け「わたしも認知症？」 家族向け「これって認知症？」

R1(4月～1月)	アクセス数	レベル1	レベル2	レベル3	
わたしも認知症？	800	70%	17.5%	12.5%	レベル1：正常範囲
これって認知症？	832	66%	14.7%	19.4%	レベル2：要注意 相談・受診
					レベル3：要受診

② 認知症予防教室の開催

「わくわく教室」 11回×2クール認知症についての基礎知識・予防知識・脳トレなどの学習
 ■地域のボランティアリーダーさんが活動のため参加 相談しにくい方が相談を兼ねて参加

③ 認知症初期集中支援チームによる支援

家族などの訴えにより、医療、介護の専門家が訪問し集中的な自立支援のサポートを実施

④ 認知症ケアパスの作成

認知症の進行状況に合わせてどのようなサービスを受けたらよいのか流れを示したもの
 H30年2月に全戸配布し、その後窓口を設置、相談者に配布、講演会の資料として活用

⑤ 認知症地域推進員の配置

現在、地域包括支援センターに 2 名配置し、医療機関や介護サービス及び地域の支援機関をつなぐコーディネーターを実施

実施事業	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R1 年度(1月末)
①認知症初期スクリーニングソフト (★本人向け▲家族向け)	★2,566 件 ▲2,876 件	★1,747 件 ▲1,570 件	★1,509 件 ▲1,333 件	★800 件 ▲832 件
②認知症予防教室 「わくわく教室」開催	延べ 186 人	延べ 401 人	延べ 375 人	延べ 305 人
③認知症初期集中支援チーム支援	相談あれば随時対応			
④認知症ケアパスの作成	—	—	全戸配布	窓口設置
⑤認知症地域推進員の配置	—	—	包括 2 名	包括 2 名

3 若年性認知症対策

若年性認知症とは、65 歳未満で発症する認知症で、社会的問題が大きい。

高齢者認知症対策の中で合わせて啓発、支援を実施している。県では H29 年度奈良県若年性認知症サポートセンターを開設。連携を取って取り組んでいきたい。

4 介護者への支援

①認知症相談会支援者の情報共有の場作り、相談の場作り

○認知症オレンジカフェ〜心晴〜のオープン H28 年 11 月〜 場所：包括支援センター

認知症の人やその家族が、専門家、地域と相互に情報を共有し、お互いを理解し合う事が出来るよう、ボランティアの協力を得て実施 ボランティア 5~8 名

お茶会 手品や体操、民謡など 1 回約 30 人の方が参加

■デイサービスまでは行きたくない、自由に楽しみながら行きたいなどのニーズに対応

○認知症家族交流会

R1 から実施 年 2 回 平群の里の方を講師として、相談会、介護の工夫など

②相談出来る場所の仕組み作り

ハートランドしぎさん認知症疾患医療センターの専門職を招いて実施

毎月第 3 木曜日 場所：地域包括支援センター 周知：社協だより チラシ

実施事業	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R1 年度(1月末)
①認知症相談会支援者の情報共有の場 相談の場作り	認知症 オレンジカフェ心晴 5 回延べ 81 人	カフェ 12 回 延べ 269 人	カフェ 12 回 延べ 351 人	カフェ 10 回 延べ 260 人 家族交流会 1 回延べ 5 人
②相談出来る場所の 仕組み作り(相談会)	11 回 27 人	12 回 24 人	11 回延べ 22 人	7 回延べ 15 人

5 認知症になっても安心して生活できる地域づくり

① 地域で見守るシステムづくり

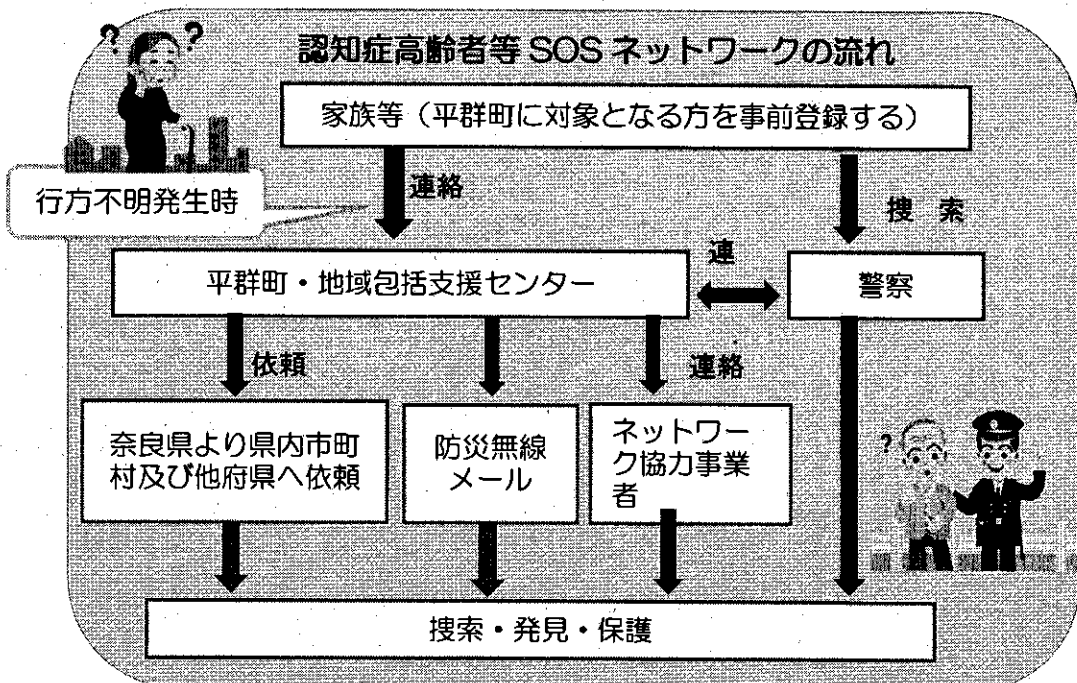
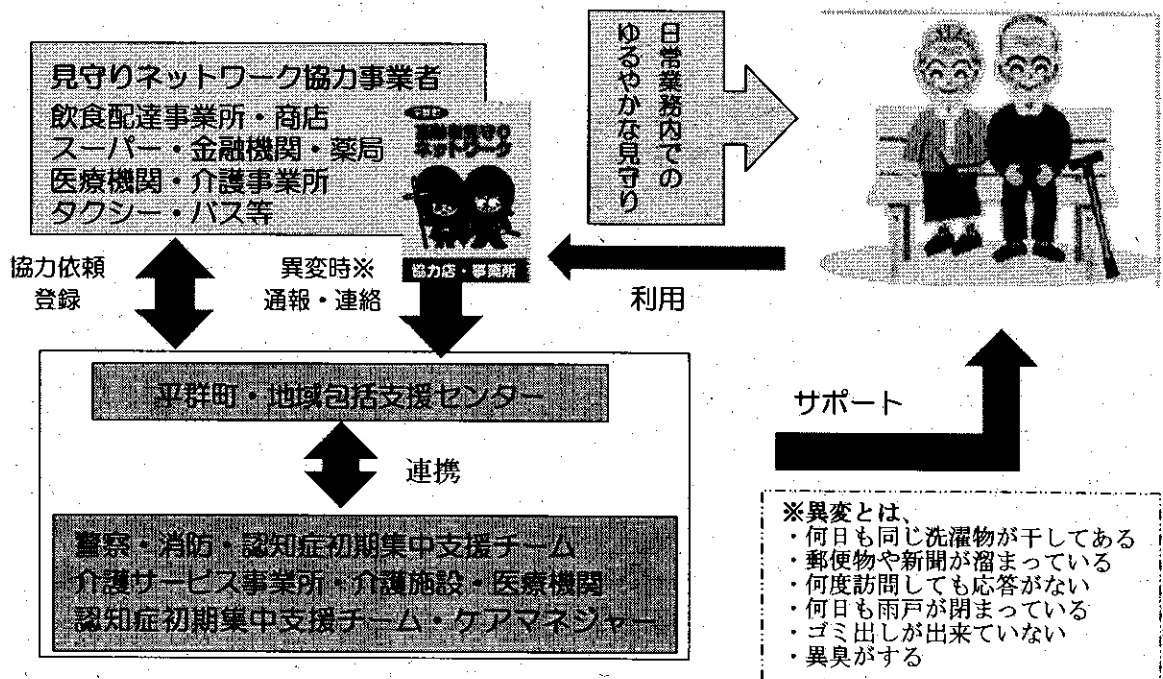
- 高齢者見守りネットワーク : 日頃から地域で見守る
- 認知症高齢者等 SOS ネットワーク : 行方不明になった際、早期発見・保護する

② 権利擁護の推進

高齢者の消費者被害の防止・及び対応 判断能力を欠く状況にある人への支援

実施事業	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度(1月末)
①見守りネットワーク(協力団体数)	—	15	20	20
SOS ネットワーク(登録者数)	—	2人	15人	28人
②権利擁護の推進 講演会	1回 25人	1回 23人	1回 25人	1回 20人

平群町高齢者見守りネットワークイメージ図



3. 在宅医療・介護連携推進事業について

目標：

医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、地域の医療・介護が連携して、包括的かつ継続的な在宅医療と介護を一体的に提供できる体制を構築する。

(1月末現在)

事業項目	令和元年度実績・予定
地域の医療・介護の資源の把握	平成30年度に生駒郡4町と生駒地区医師会が協働して作成した「在宅医療介護資源集」を町内介護事業所、医療機関等に配布し活用した。
在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	<ul style="list-style-type: none"> ・生駒地区医師会と生駒郡4町の関係者等が集まり「生駒郡地域ケア会議」を2回開催した。 ・西和7町の関係者と医療機関や介護事業関係者等が集まり「西和メディケアフォーラム」を1回開催した。
切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進	
在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携	
在宅医療・介護連携に関する相談支援	・在宅療養支援室を活用した。
医療・介護関係者の情報共有の支援	<ul style="list-style-type: none"> ・医療と介護の連携シートと活用した。 ・入退院連携マニュアルの見直しと活用をした。
医療・介護関係者の研修	医療・介護関係者が参加し多職種勉強会を1回開催した。
地域住民への普及啓発	・12/4在宅医療講演会「最後まで自宅で住み続ける方法」を開催し57名出席した。

4. 生活支援体制整備事業について

□事業の目的

日常生活上の支援が必要な高齢者などが、住み慣れた地域で生きがいを持って在宅生活を継続していくために、平群町が中心となり多様な事業主体と連携しながら日常生活上の支援体制の充実・強化及び社会参加の推進を行うことを目的とする。

□進捗状況

生活支援・介護予防サービスの体制整備に向けて、平群町が主体となって多様な事業主体の参画のもと「定期的な情報の共有・連携強化の場」として「生活支援体制整備事業協議体（第1層）」が平成28年6月20日に設置された。平群町の地域資源について把握し、既存の活動内容の充実・発展のために必要とされる支援や、地域住民や関係機関・団体が関わり実施する住民主体の多様な助け合い活動の発展についての支援を行うため継続して協議を行っている。

1. 生活支援体制整備事業協議体の開催（第1層）

（1月末現在）

実施日	内 容
R1年 5月 31日	○地域ニーズと町や各種団体の取組みについての情報共有 ○「高齢になっても地域で元気に暮らし続けるために私たちが できること」をテーマに「平群町の地域 資源について」の協議
R1年 6月 26日	
R1年 8月 7日	
R1年 10月 2日	
R1年 12月 16日	
R2年 2月 5日	



○生活支援体制整備事業講演会の開催 令和2年2月22日(土)

2. 平群町安心見守り事業

平成30年4月1日から「地域での見守り体制の構築」、「地域の支え合い活動の推進」を自治会単位・住民の互助の活動で実施する「平群町安心見守り事業」を開始した。

事業の活動者としては、各自治会より推薦され平群町長により委嘱を行う「平群町地域支え合い推進員」を設置し、関係機関との協働のもと、定期的に見守りが必要な高齢者などを対象とし、地域内での見守り活動などを実施した。

○実績報告【令和2年1月31日現在】

登録者数：121名（102世帯）

内 訳：一人暮らし高齢者 63名

高齢者のみ世帯 38名

その他 20名（内訳：日中独居11名・障害者4名・その他5名）

性 別 男性 32名 女性 89名

○平群町地域支え合い推進員研修会の開催

第1回 令和元年10月28日（月）「傾聴について」